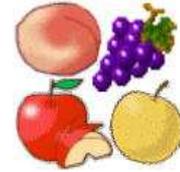




平成25年度 果樹情報 第19号

(平成26年3月13日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況（3月上旬：果樹研究所）

平均気温は1半旬が3.4℃で平年より0.2℃低く、2半旬が0.0℃で平年より3.5℃低い状況でした。この期間の降水量は18.0mmで平年の84%でした。

2 発芽予測（果樹研究所）

今後の気温が平年並みに経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月30日頃で平年より4日遅く、ナシ「幸水」の発芽は4月7日頃で4日遅く、リンゴ「ふじ」の発芽は4月1日頃で3日遅いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意が必要です。

表1 発芽予測日（平成26年3月12日現在）

			発芽日		今後の気温経過		
			昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
もも	あかつき	3月20日	3月26日	3月30日	3月26日	4月3日	
なし	幸水	3月29日	4月3日	4月7日	4月2日	4月12日	
りんご	ふじ	3月22日	3月29日	4月1日	3月28日	4月6日	

注）発育速度（DVR）モデルによる発育予測。平年は1981～2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区気象台 平成26年3月6日発表)より

今後の気温経過は、1週目（3月8日～3月14日）は平年より低い確率が80%、2週目（3月15日～3月21日）は高い確率が40%、3～4週目（3月22日～4月4日）は平年並みまたは高い確率ともに40%となっています。

3 栽培上の留意点

(1) 管理作業の計画的実施

発芽予測日や今後の気象予報等を考慮し、せん定、せん定枝処理、誘引及び休眠期防除等の管理作業が遅れないように注意しましょう。

(2) ももの摘らい

摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前までとなります。発芽期以降は、摘らいの際に葉芽を痛めやすい上に花らいが離脱しにくくなり能率が極端に低下します。摘らい作業は時間を要するので計画的に実施しましょう。

摘らい作業の省力化を目的として、高圧動力噴霧機と摘らい用ノズルによる水圧摘らいを実施する場合は、果面障害の発生を最小限に抑えるため発芽期前後に実施するか、開花直前～開花期頃に実施しましょう（開花前5～15日および発芽後5～15日頃は果面障害が発生しやすいので注意が必要です）。

4 病害虫防除上の留意点

発芽前の防除は時期が遅れないように注意し、無風の日（寒冷な日や時間帯は避ける）を選んで確実に実施してください。

(1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっているため、休眠期からの防除を徹底しましょう。発病部位は健全部を5 cm以上含むように削り取るかせん除するとともに、発芽前の防除を徹底しましょう。

うどんこ病のボケ芽等はせん定作業時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。リンゴハダニの越冬卵量が多い園では、発芽前の防除を徹底しましょう。

(2) もも

縮葉病、ハダニ類、カイガラムシ類、アブラムシ類の対策のため、発芽前の防除を徹底しましょう。

コスカシバの発生が多い園では、縮葉病防除後に、防除剤を幹および主枝に散布しましょう。

(3) なし

黒星病およびハダニ類、カイガラムシ類の対策として、発芽前の防除を徹底しましょう。

(4) ぶどう

晩腐病に対しては、発芽前の防除を徹底しましょう。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=0000004&CONTENTS_ID=22752#kajuyujyouthou

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>